C・Sコラム

敬天愛人

碧南市長 禰冨田政信

26年度碧南市職員改善提案件数562件

平成26年度の職員提案の集中募集を27年2月16日から3月6日にかけて実施しました。26年9月1日からは、提案や改善を思いついたときにいつでもシステムに入力（提出）できるようにしてありますが、集中的に提案の提出を促す期間（集中募集期間）を設けました。その結果、職場改善報告（実施済、所属業務について、おおむね1年以内に実施した改善内容の報告）が304件（前年は293件）、未実施の事務改善提案（所属業務にとらわれず、自由で建設的な発想での事務改善提案課題提案）158件、未実施の政策的提案（所属業務にとらわれず、自由で建設的な発想での政策的提案）54件、課題提案（具体的な課題に対する提案を募集、26年度の課題は①ふるさと応援寄附金「クラウドファンディング」のテーマ募集②公共施設の利用率を上げ、使い切るためのアイデア募集）38件、市民病院職員の改善提案8件、計562件が提案審査会に出されました。

また、職員1人あたりの提案率（提案数÷人数）の高かった上位3部署は、1位 商工課（600％）、2位 議事課（260％）、3位 経営企画課（250％）でした。

なお、実施済改善提案304件中、金賞2件、銀賞6件、銅賞15件、合計23件が表彰され、それらの経費削減効果は、合わせて約2千100万円となりました。碧南市における提案制度は昭和36年から実施されております。

私が市長になって以降、一貫して、市役所と市職員の目的は「CS（市民満足度）とCP（コストパフォーマンス＝費用対効果）の最大化」であると訴え、日常的な改善・改革を促してきました。その結果の1つであると思いますが、職員提案件数は、ここ数年、600件程度となっています。

ちなみに、過去14年間の提案件数は、平成12年度41件、13年度62件、14年度61件、15年度16件、16年度47件、17年度48件、18年度81件、19年度418件、20年度190件、21年度212件、22年度448件、23年度577件、24年度565件、25年度613件でした。

今後とも、職員一同、市民の皆様の期待に応えて、誠心誠意、継続して改善に努めてまいりますので、市民の皆様のより一層のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

中高生等海外派遣学生決定 姉妹都市エドモンズ市へ

問合せ　地域協働課地域協働係

市では、昭和62年よりアメリカ合衆国エドモンズ市へ、若い人たちの国際交流に対する理解と両市の親善を深めることを目的として、中高生などを派遣しています。

今年は碧南市からエドモンズ市へ中高生15人が8月6日㈬に出発し、現地の一般家庭でホームステイして19日㈬に帰国する予定です。

派遣メンバー（敬称略）

榊原実怜（新川中3年）
小串亨（新川中3年）
石原春妃（新川中3年）
北原はるひ（南中3年）
小嶋凜（中央中3年）
溝口達也（東中3年）
河津有希（西端中3年）
尾崎鉄兵（西端中3年）
加藤緋夏（西端中3年）
新美華音（西端中3年）
小澤みゆう（安城高2年）
名倉恵美（安城高2年）
古久根慶典（西尾高2年）
石原果穂（碧南高2年）
黒田穂茄（刈谷高2年）
黒川和恵（引率）
山田洋輔（引率）

エドモンズ市から碧南市を訪問する皆さんと交流しませんか

①姉妹都市学生使節団ウェルカムパーティー

とき　7月22日㈬　18時30分～
ところ　文化会館
参加費　500円

②元気ッス！へきなん参加者募集

過去に姉妹都市に行った人、これから行ってみたい人は、是非ご参加ください。

とき　7月25日㈯
ところ　市役所周辺

①②とも

申込み　地域協働課地域協働係